

清武川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、清武川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



頭首工の改修

実施後



水源林の整備

実施後



河道掘削

実施後



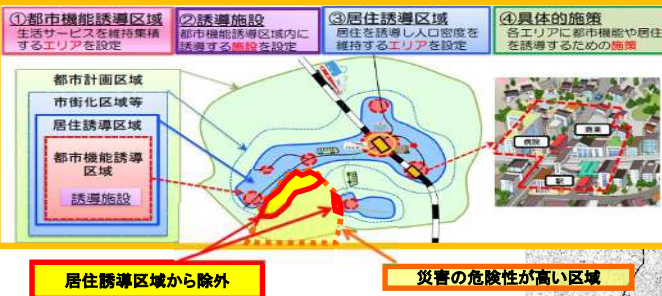
■グリーンインフラの取組

※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 【洪水氾濫対策】
 - ・河道掘削、樹木伐採 等
 - ・排水機場の整備 等
- 【高潮、地震・津波対策】
 - ・堤防の地震対策 等
- 【森林の整備・保全、治山施設の整備】
 - ・下刈り・間伐・再造林、水源林造成、治山ダム、山腹工 等
- 【流域の雨水貯留機能の向上】
 - ・ため池の改修、土砂浚渫 等
 - ・ほ場整備、排水機場の整備 等



■被害対象を減少させるための対策

- 【リスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫】
 - ・災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定
- 【まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実】
 - ・土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

【この地図を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。】 測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R3JHf151】

防災士による出前講座



■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 【リスク情報の提供・充実】
 - ・洪水浸水想定区域図の作成・データの提供 等
 - ・洪水ハザードマップの作成 等
 - ・マイ防災マップ・マイタイムラインづくりの推進 等
 - ・ため池ハザードマップの周知 等
 - ・水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供 等
- 【防災・避難体制の強化】
 - ・防災士養成研修の実施 等
 - ・ハザードマップやタイムラインを活用した防災訓練の実施・支援 等
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の策定支援 等
 - ・防災情報の共有
- 【防災学習・啓発の推進】
 - ・出前講座・防災学習の実施（防災の日・防災週間） 等
 - ・小学校等と連携した防災学習の推進による水防災意識の醸成 等
- 【早期復旧・復興への備え】
 - ・樋門・樋管等の確実かつ効率的な運用を行うための検証 等
 - ・新たな洪水浸水想定区域図を踏まえ、水防倉庫やアクセス路の見直し 等
 - ・公共施設・ライフライン等の機能維持対策の検討 等

清武川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

- 清武川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】

- ・流域内の人口が集中している清武川本川（宮崎市～清武町）区間における浸水被害を未然に防ぐため、土砂堆積の著しい箇所への河道掘削を実施することで、水位低下を図る。支川においても、土砂堆積状況を注視しながら、必要に応じて河道掘削を実施する。

【短期～中長期】

- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
- ・今後の人口減少、少子超高齢化社会の到来を見据え、多様な都市機能を各拠点に集約するとともに、災害リスクの高い区域を「居住誘導区域」から除外し、緩やかな居住区域の誘導を図る。また、宮崎市独自の「防災対策推進区域」を設定することで、防災・減災対策の推進や災害リスクを周知する。
- ・洪水浸水想定区域図の未作成河川における洪水浸水想定区域図作成及びハザードマップの整備による防災情報の充実を図る。

■ 河川対策 （約 17 億円）

ロードマップ（令和6年度時点）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をくさるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県	河道掘削・樹木伐採・排水機場の整備 等		
	高潮、地震・津波対策	宮崎県		堤防の地震対策 等	
	森林の整備・保全、約山地区の整備	宮崎県、宮崎市、森林整備センター		下流り・間伐・再造林、水源地造成、治山ダム、山腹工 等	
	流域の雨水貯留機能の向上	宮崎市		ため池の改修、土砂退避 等	
被害対象を減少させるための対策	リスクの高いエリアへ誘導／住まいの工夫	宮崎市		ほ場整備、農家用のため池整備、排水機場の整備 等	
	まちづくりでの活用を視野にした土地の防災情報の充実	宮崎県		災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定 土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化	
被害の軽減、早期回復、復興のための対策	リスク情報の提供・充実	宮崎県		洪水浸水想定区域図の作成・データの提供 等	
		宮崎市		洪水ハザードマップの作成 等	
		宮崎県、宮崎市		マイ防災マップ・マイタイムラインづくりの推進 等	
		宮崎県、宮崎市		ため池ハザードマップの周知 等	
	防災・避難体制の強化	宮崎県、宮崎市		水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供 等	
		宮崎県、宮崎市		防災士養成研修の実施 等	
		宮崎県、宮崎市		ハザードマップやタイムラインを活用した防災訓練の実施・支援 等	
		宮崎市		新たな洪水浸水想定区域図を踏まえた避難路・避難場所の見直し 等	
	防災計画・避難の推進	宮崎市		家配慮者利用施設における避難確保計画の策定及び防災訓練等の支援 等	
		宮崎県		防災情報の共有	
		宮崎県、宮崎市		出前講座・防災学習の実施（防災の日・防災週間） 等	
		宮崎県、宮崎市		教育委員会・小学校等と連携した防災学習の推進による防災意識の醸成 等	
	早期復旧・復興への備え	宮崎県、宮崎市		既存の税関・検査・検疫施設等の確保かつ効率的な運用を行うための検証・体制の確立 等	
		宮崎県、宮崎市		新たな洪水浸水想定区域図を踏まえ、水防倉庫やアクセス路の見直し 等	
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	宮崎県		公共施設・ライフライン等の機能維持対策の検討 等	
	自然環境の保全・復元などの自然再生	宮崎県、宮崎市、森林整備センター		生物の多様な生態・生育・繁殖環境の保全・創出（湖、池、河川、ワンド等の保全） 河川景観の保全・創出	
	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県		湿地等の貴重な自然環境の保全 生物の多様な生態・生育・繁殖環境の保全・創出	
	自然環境が有する多様な機能活用の取組	宮崎県		川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持 水辺空間のレジャー等利用	
		宮崎県、宮崎市		川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持 小中学生や任意団体等による環境学習	
		宮崎県、宮崎市		水辺空間のレジャー等利用	

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。